

りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙
第187号
7
18. .30

表紙

・島原の豊かな大地と志高い生産者に育まれたにんじん・玉ねぎ・じゃがいも

P2

・私たちの食べ方が食の未来を決定する

P3

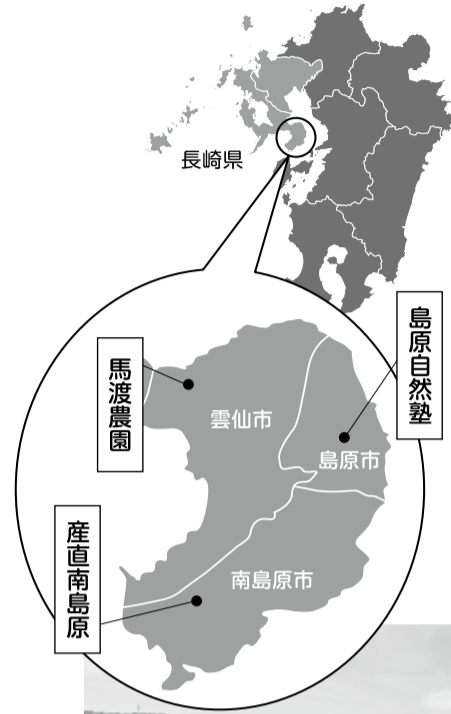
・首長メッセージ取得活動 大阪府訪問／針江田植え交流会／中井製茶茶摘み交流
・組合員紹介 ・ワーカーズ紹介

P4

・私たちのエネルギーを考える！
・エコロ給付状況報告
・子育てひろば案内
・理事会報告・おたよりネット・編集後記

島原の豊かな大地と志高い生産者に育まれたにんじん・玉ねぎ・じゃがいも

20週(5月21日～)から生活クラブ関西6生協統一の根菜類の登録利用が始まりました。取り組むにあたり、6月8日(金)・9日(土)の2日間、長崎県は島原半島にある生産者を訪問しました。大阪伊丹空港から長崎空港まで約1時間15分、車に乗り継ぎ島原半島まで約1時間30分で到着。この地域は海も山も近く、傾斜地では歴史ある石垣で作られた美しい段々畑が広がっていました。半島中心部には雲仙普賢岳があり、火山灰によるミネラル豊富な土壌を基礎に土作りを大切に、土地の特徴を活かした野菜作りをされていました。(消費委員会担当理事 北辻 美樹)



馬渡農園

登録にんじん

泉北生協の時代より、エスコープ大阪とは産直をおこない古くからのお付き合いです。笑顔が印象的なお父さんの重幸さんとは、以前は頻繁におこなわれていた組合員との交流会や産地訪問の話で盛り上がりました。この訪問を機にまた産地訪問や情報交換などすっかり交流してきたいです。



これまででは規格外が出荷の大半を占めていましたが、規格内の供給を増やし生産基盤を安定させることを目指しています。息子さんの孝浩さんは、「登録にんじん」のスタートを機に「トンネル栽培」(小さなハウス栽培)を導入したり、播種時期・栽培方法等を変えながら、「島原自然塾」との出荷時期を合わせるよう努力しています。関西6生協の青果委員会で、取り組みの共有や生産者連携をすすめたことで横のつながりができたことによる成果だと感じます。関西4生協(生活クラブ大阪、奈良、滋賀、京都エル・コープ)にとっては新しい生産者になりま



新しい栽培方法にも挑戦中の馬渡さん親子。父の重幸さん(上)、息子の孝浩さん(下)

(有)島原自然塾

登録にんじん

訪問してすぐ事務所で会員生産者が載っているパンフレットを見て「若い生産者も多い！赤ちゃんを抱いた生産者もいて未来があるなあ」と、とてもうれしくなりました。

にんじん畑では、手作業で種をまくのではなく一定間隔で種をテープにセットしたもの(シーダーテープ)を使うことで作業の効率化を図っているそうです。マルチの穴の間隔に合わさっており、シーダーテープとマルチを同時に機械で張っていくのできれいに一列に植えることができます。育ったにんじんを試しに引かせてもらいましたが、スポスポと大変気持ちよく抜け、形も非常に整っていました。土作りに力を入れているので、早速ミミズが顔をのぞかせていました。

除草が特に大変で、それだけで年間のべ200名のパートさんが作業しているそうです。しんどい作業なので人手不足が課題といいなと思います。

孝浩さんは私たちの訪問の様子をフェイスブックに投稿されていました。畑の様子も随時更新されているので、ぜひ一度馬渡農園のフェイスブックをのぞいてみてください。

で、今年からベトナムの研修生に来てもらっているそうです。

代表取締役の酒井澄晴さんは気さくで優しい印象でしたが、他の畑を案内してもらった時には仲間の生産者への厳しい一面もみせ、後継者や生産者の育成に力を入れていることもわかりました。「自らが生産したものは、責任を持って消費者に届けることを生産者の原点と考え、有機無農薬にこだわった野菜作りをおこない、顔が見える生産体制を進めています。地域を巻き込んだ環境保全型、自然循環型農業の実現もめざしています」と力強く話されました。



自慢のにんじんを収穫しながら、代表取締役の酒井澄晴さん

(株)産直南島原

登録じゃがいも・玉ねぎ

過去の噴火でもたらされたミネラル分たっぷりの火山灰土に、鶏糞、稲わらを使い、半年熟成させた自家製堆肥や牡蠣殻石灰を投入し、土作りに力を入れておられました。畑には化学合成農薬不使用のじゃがいもと玉ねぎがたくさんできており、特に今年は大豊作だそうです。7月に世界遺産登録された原城跡の横にある広大なじゃがいも畑を見に行きました。周辺は今は整備されていく可能性が高いとのことでした。とても清々しく美しい環境でした。

ほかに山あいの昔からある石積みの段々畑も見学しました。1枚1枚の畑はあまり広くなく、作業効率は良くありませんが、水はけが良くじゃがいもと玉ねぎの栽培に向いているそうです。

豊作のじゃがいもと玉ねぎがいっぱい入ったコンテナの前で。



代表取締役の林田康一さん

す。畑では産直南島原の代表取締役の林田康一さんの息子さんやその友人が作業をされていて大変頼もしく感じ、その横では林田さんのご両親が掘り起こされたじゃがいもを仕分けながらコンテナに入れる作業をされていました。「日本の農業はこうやって脈々と受け継がれてきたんだなあ、私は同じ食べるならこんなふう育てられたじゃがいもが食べたい」と感じました。

集荷・貯蔵・出荷の施設も見学しました。整理整頓された施設で、どの生産者が栽培したものかわかるように管理され、品質チェックをしながら袋詰めされていることもわかりました。届くのがとても楽しみです。

家族みんなでがんばっています。若くて頼もしい後継者の林田斗真さん(右)と、その友人(左)



私たちの食べ方が 食の未来を決定する

生活クラブ関西6生協では、関西青果政策として青果の統一化に向けた基本方針を決定し、第1弾は「温州みかん」、第2弾は中晩柑の「スイートスプリング」「早生不知火」「伊予柑」のシーズン予約の取り組みをスタートしました。そして20週から第3弾「にんじん」「玉ねぎ」「じゃがいも」の登録が始まりました。カタログで自由注文も取り組みますが、登録して食べることを基本とした組み立てをすすめていきます。

日本の農業と私たちの食

農林水産省の発表によると、2017年の農業経営体数は前年から4.6%減り、125万8千体となりました。法人経営体は2.6%増の3万5千体ですが、大半を占める家族経営体は1年間で4.8%（6万2千体）の減少、特に小さい経営体ほど減少率が高く、高齢化や後継者不足を背景に、小規模の家族経営体の減少が止まらない状況が続いています。

また、2016年度の食料自給率（カロリーベース）は前年度から1ポイント下落し38%となりました。日本の食料自給率は、1965年は73%でしたが、2010年度には30%に落ち込み、50年かけて食料自給率を半減させた世界に類を見ない国とされています。日本の食料自給率は先進国の中で最低水準であり、近年の世界需要の増加により、足りなければ輸入でまかなう構図は遅かれ早かれ成り立たなくなるでしょう。

食の安全保障と持続可能な食をすすめるために自給力を強化していく必要があります。私たちにできることは、生活クラブ関西6生協の食べる力により、生産と消費の関係を直視し、より関係を強固なものにして、持続可能な生産と消費に取り組んでいくことです。

組合員と生産者が共に

私たちの望む食べものを食べ続けるためには、私たち組合員が責任を持って消費をすすめる、生産者が継続して生産できるようにしていくことが大切です。お互いの考えや想いを共有し、双方が課題に取り組むことで持続可能な提携関係の強化をはかります。スーパーの産直品とは違い、私たちの取り組みは、組合員も生産者も互いの顔がわかる、そして直接話し合いながら消費材をつくっていくことができる関係にあります。関西青果政策として下記の基本方針を定めました。

関西青果政策（基本方針）

1. 計画的な生産と消費の追求
2. 青果物本来の使用価値の追求
3. 適地適作、適期供給
4. 生産者と組合員の交流推進
5. 生産者の自立運動への連帯

この取り組みを
続けていくために
食べる力を合わせよう

私たちの青果の取り組みを持続可能なものにしていくため、産地と提携する目的や意義を理解しなおし、生産者と共に目標をたてて利用結集を進めていきます。

自由注文はもちろん、さらに登録II約束して食べることを広げていくことで、生産者は安心して生産することができ、技術の向上にもつながります。そしてそれは、安全性やおいしさ、価格などにもつながっていきます。

	生活クラブ6生協年間計画数量	エスコープ大阪年間計画数量
にんじん	284トン	52.15トン
じゃがいも	264トン	51.82トン
玉ねぎ	401トン	80.33トン

共に消費材をつくる生産者

登録にんじん

馬渡農園（長崎県雲仙市吾妻町）

馬渡さんご夫妻と長男の孝浩さんを中心にスタッフ4名。栽培期間中、化学合成農薬・化学肥料は不使用。自家製堆肥と微生物資材による土作り、輪作を基本とした栽培体系です。

(有)島原自然塾（長崎県島原市）

会員と準会員併せて30名の生産者団体。登録にんじんは4名の生産者を限定。栽培期間中、化学合成農薬・化学肥料は不使用。堆肥を投入した土作りと、輪作やマリーゴールド等の基肥植物で連作障害を防止。除草作業等の細やかな管理により農薬・化学肥料を使用しない栽培を実現しています。

登録玉ねぎ

(株)産直南島原（長崎県南島原市）

6名の生産者団体。栽培期間中、化学合成農薬・化学肥料は不使用。ミネラル分たっぷりの火山灰土に、鶏糞や稲わらを使い、半年熟成させた自家製堆肥や牡蠣殻石灰を投入し、土づくりに力を入れています。

北阿万愛農会（兵庫県南あわじ市）

5名の生産者団体。栽培期間中、化学合成農薬・化学肥料は不使用（育苗のみ化学肥料使用）。地域内の乳牛・和牛・鶏糞堆肥と魚粉、油粕などで土作りをしています。

つちから生産組合（北海道新篠津村）

「新篠津つちから農場(株)」（北海道新篠津）、「朝倉農場」（北海道斜里郡清里町）、「渡辺農場」（北海道斜里郡小清水町）の3生産者が栽培。有機JAS認証を受けています。堆肥やボカン肥料、その他有機質資材を投入することで、畑の微生物が活性化し、より自然に近い状態で栽培しています。

植田 寛さん（大阪府岸和田市）

栽培期間中、化学合成農薬・化学肥料は不使用。組合員に安心、安全、信頼できる作物を届けたいという思いで「泉州玉ねぎ」を栽培しています。生活クラブ関西6生協の温州みかんシーズン予約取り組みの生産者でもあります。

登録じゃがいも

(株)産直南島原 ※登録玉ねぎと同じ。

登録は配達担当または
エスコープ大阪本部まで
☎072-293-4660

これさえあればの万能3選手!
登録していつも冷蔵庫にスタンバイ

		規格 (登録週は選べます)		価格
		登録	カタログ	
にんじん	馬渡農園 (有)島原自然塾 十勝なかよし会 (カタログでの 自由注文のみ)	3kg		820円
		1kg		300円
玉ねぎ	(株)産直南島原 愛農会 つちから生産組合 植田 寛さん	5kg		1015円
		1kg		233円
じゃがいも	(株)産直南島原 春作(5月初旬頃~) ニシユタカ 秋作(11月下旬頃~) デジマ		1kg	240~ 265円
		登録	5kg	1200円
		登録	1kg	255円
		カタログ	1kg	270円

環境委員会
**首長メッセージ
 取得活動大阪府訪問**
 6月7日(木)
 大阪府咲洲庁舎
 環境担当理事 宮田 恭子

大阪府にせっけん運動を アピールしました

エスコ
 プ大阪は、
 せっけん
 またせっけんが安全であること
 を伝えるために、合成洗剤溶液と
 せっけん溶液に魚を放しての毒性
 比較実験の動画を見てもらいまし
 た。これは「(株)エスケイ石鹸」を講
 師に招いた学習会でも取り上げた
 もので、合成洗剤に含まれる化学
 物質の毒性を知ってもらえたと思
 います。

利用を推進する全国の協同組合や
 生産者と共に「せっけん運動ネッ
 トワーク」を組織し、運動をすす
 めています。毎年7月を「シャボン
 玉月間」として、首長メッセージの
 取得活動に取り組み、今年もエス
 コープ大阪エリア内の23自治体を
 訪問しました。

大阪府には、エスコープ大阪の
 理事3名と生活クラブ大阪の理事
 1名が訪問。環境担当部署の職員
 3名と面談しました。有害性のあ
 る化学物質がどこからどれくらい
 環境に排出されたかと、廃棄物と
 一緒に事業所の外に運び出された
 かを事業者からの届出データや推
 計を基に国が集計・公表する
 「PRTTR制度」により、事業者が
 他の事業所と比較されることで有
 害化学物質の排出削減を意識する
 ようになったと聞き、「PRTTR制
 度」が生かされていることを知り
 ました。

私たちは身体と水環境を守る
 ためにせっけんを推進しているこ
 とを伝え、大阪府にも環境保全の
 ためにせっけんを推進していただ
 くようお願いしました。「せっけ
 んも合成洗剤と同じ扱いをしてお
 り、両方とも適量使用をすすめる
 というスタンスを変えることはで
 きない」との返答でしたが、初めて
 訪問に同行し、自治体に向けて
 せっけん運動を発信し続けること
 の大切さを実感しました。市民と
 自治体が協力して水環境を守る
 ために、合成洗剤ではなくせっけ
 んを使うことで家族の健康を守
 り、海や川の環境を良くしていこ
 うと伝えていきます。

消費委員会
**針江田植え
 交流会**
 5月27日(日)
 滋賀県高島市新旭町
 消費担当理事 北辻 美樹

美しい自然と志高い生産者に作られた 「針江げんき米」をもっと食べよう



大変さがわかった」「もっとお米を
 食べようと思う」などの感想があ
 りました。
 交流会の後は子どもたちお待ち
 かねの川遊び。まだまだ水は冷たい
 のに、発泡スチロールのいかだに
 乗って何度も川下りをしました。公
 民館の前を流れる針江大川は水が
 とてもきれいで、梅花藻(ばいかも)
 が生えており、カニや小魚なども棲
 んでいます。このきれいな水や琵琶
 湖を守るため、「針江げんき米栽培グ
 ループ」では農業を極力使用せずお米を作っ
 ています。

五月晴れの田植え日和
 に、大人19名、子ども20名
 の総勢39名で「針江げん
 き米」の産地、針江地区に
 行ってきました。この地
 区には、比良山系に降っ
 た雪や雨が伏流水とな
 り、きれいな水が至ると
 ころでこんこんと湧いており、「川端(か
 ばた)」という独自の水文化があります。
 この豊かで美しい環境で、私たちの「針
 江げんき米」は栽培されています。

田植え体験では、男の子たちはいつの
 間にかカエルを追いかけられることに夢中
 に。その分大人が予定よりたつぷりと田
 植えをしました。田植えの終わった田ん
 ぼは、植えた筋が少し曲がっているけ
 れど、なかなかの出来栄でした。
 昼食に「針江げんき米」を3升ほど炊
 きましたが、炊飯器はあつという間に
 空っぽ。田植えをした後のご飯はことさ
 らおいしいです。生産者から田んぼの状
 況などを聞き、組合員からは「米作りの
 大変さがわかった」「もっとお米を
 食べようと思う」などの感想があ
 りました。



泉州地域
**中井製茶
 茶摘み交流**
 6月8日(金)
 京都府相楽郡和束町
 泉州地域理事 黒澤 淳子

お茶の香りにはおーと一息、心和むひと時でした

で、収穫する様子を見ることがで
 きず残念でした。私たちは、定植
 してから2年目の若木の葉を摘
 ませていただきました。



組合員18名で、「中井
 製茶」を訪問しました。
 道中に雨が降ってきた
 心配しましたが、到着
 した頃には雨も上が
 り、茶畑に出ることができました。し
 かし、ぬれた茶葉は加工するのに適さ
 ないので、通常雨の日は摘まないそう

初めて茶摘みをする参加者が
 ほとんどで、中井さんから葉の摘
 み方の説明を聞いてさっそく体
 験しました。「先端の葉はやわら
 かく天ぷらにもできるよ」と聞く
 と、いつせいに先端の薄緑の葉を
 選んで摘み始めたり、「一番摘み、二番
 摘みに始まり最後のほうは番茶にな
 ります」との説明に、豚肉の部位バラ

次に中井さんの工場に移動し、煎茶
 のおいしい淹れ方を実演しながら教
 えていただきました。
 真新しい和束観光案内所で、中井さ
 んに手配をお願いした地元のお茶づ
 くしのお弁当を楽しみ、食後のお抹茶
 をいただきながら交流しました。「有
 機質肥料と無農薬で栽培するのは大
 変さもあるが、茶葉は洗って使うもの
 ではないので農薬は絶対に使って



いけないとがんばって作っています」
 と語る中井さんに、誠実なものづくり
 への熱意を感じました。
 40年にわたって培った、生産者と組
 合員の協力和努力が作り上げた安心・
 安全なお茶を通して、エスコープ大阪
 のすばらし
 さを改めて
 感じました。
 利用を通し
 て取り組み
 を守ってい
 きたいと思
 います。

GO! GO! 第2回 ワーカーズ・コレクティブ 配食W.Coつむぎ屋



エスコープ大阪の街づくりや
 市民事業の創出などの政策を進
 める中、「配食事業があったらいい
 な」と、月一回のお弁当作りの
 活動が始まりました。その活動
 が発展して2010年に配食関
 係のW.Coとして「つむぎ屋」が
 設立。エスコープ大阪の福祉施
 設(ピース八田西)の給食作りや、
 光明池地域を中心に、泉北ニユー
 タウンで昼食のお弁当を届けて
 います。エスコープ大阪の理事
 会の昼食もつむぎ屋さんのお弁
 当で、いつもおいしくいただいで
 います。

大阪府南中河内地域委員会
 ニュース「ビーンズ」のロゴを
 考案した馬藤さん。「世代を問
 わず」「豆」とわかるよう、ころん
 とした形とかわいさを表現し
 た」と、ロゴへの思いを話して
 くれました。組合員が「から
 デザインした大切なロゴとし
 て、紙面を飾っています。
 数ある生協からエスコープ
 大阪を選んだのは、自主基準の
 高さや、サンプルの「豚ミンチ」
 のおいしさ、リユースびんの取
 り組みに魅力を感じたから
 とのこと。野菜や調味料、
 下処理済みの魚など多くの
 消費材を利用して、無
 農薬野菜の価格が高すぎず
 利用しやすいことも気に
 入っているそうです。

紹介します!!
 うちの地域の
 組合員さんです

新しい『ビーンズ』 ロゴの生みの親!

馬藤 奈美さん
 [大阪市南・
 中河内地域]



ビーンズ

4月に阿倍野区民セン
 ターで開催した「ビーンズ
 ボーンフェス」では、消費材
 やエスコープ大阪の取り組
 みに大変興味を持ち、お手
 伝いスタンプとして活躍され
 ていたのが印象的でした。現
 在は、「虫歯になりにくい食事」
 「砂糖との上手な付き合い方」
 「食の安全性」などに興味があ
 り、これからもエスコープ大阪
 を利用していきたいとのこと
 でした。
 聞き手 竹野 和子
 (大阪市南・中河内地域委員)

1日のワークは主菜作
 リ1名と副菜作り2名で
 おこない、副菜作りの人は
 お弁当の配達も担当しま
 す。調理を担当する人が
 配達するのでお弁当の内
 容を伝えることができ、利
 用者の要望にも対応しや
 すくなります。エスコ
 ープ大阪を利用されていた高齢
 の方の利用も増えています。1
 日50食以上の利用をめざし、月曜
 から土曜まで8人のメンバーで
 助け合いながら働いています。
 メンバーが高齢になり、若い世
 代の参加を募って事業を継続さ
 せていき、また新たな配食関係の
 W.Coが増え連携していくこと
 で、もっと多くのニーズにこ
 いてたらと話されました。

※W.Co:ワーカーズ・コレクテ
 イブの略。非営利市民事業で、地域
 に必要なサービスを共同出資して
 自主運営し、みんなで働く。地域に
 必要なコト・モノを自ら生み出し、
 地域貢献の視点をもつ。



第1回 理事会報告 <6月13日>

【4月度決算報告】

- 供給高 2億639万円(前年同月比100.5%)
- 組合員数 19,207名(前月比322)
- 一人あたりの出資金 79,289円

【5月の放射能検査結果】

5月は連合消費材516検体、エスコープ大阪独自の消費材5検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【協議事項】

- ①役員人事委員会の設置について
- ②店舗Do設備機器類のリプレースおよび店内リニューアル提案
- ③「NPO法人 WCo.はんど」への事業経営支援

【報告承認事項】

- ①第52回総代会について
- ②豚肉推進月間の目標決定とレシピ集を使った統一取り組みについて
- ③2018エスコープまつり(仮)の企画内容
- ④第1回菜食会議「意見交換会」の提案
- ⑤住吉川小水力発電を実現する会活動の草刈りへの参加について
- ⑥第5次エネルギー基本計画策定に向けたパブリックコメント提出
- ⑦たねと食とひと@フォーラム主催シンポジウム開催の賛同依頼
- ⑧シンポジウム「子どもたちとともにつくる未来」視察について

生活クラブでんきの 「自然エネルギー基金」 というしくみ

2017年度にエスコープ大阪では、映画『日本と再生く光と風のギガワット』の自主上映会の活用しています。

2018年3月時点での基金への参加者は3千827人、積立残高は1千915万2千224円です。基金は「省エネをすすめる活動」や「自然エネルギーをすすめるための電源開発」に活用します。「基金運営委員会」を設けて、条件と上限金額を決め、申請内容をしっかり審査した上で助成を決定しています。審査委員には「認定NPO法人 環境エネルギー政策研究所」の飯田哲也さんも参加されています。多くの生協が、省エネの方法や地球温暖化について考える講座などの活動

一人ひとりの気持ちが集まることで大きな行動や事業につながり自然エネルギーの輪が広がっていきます。それは原発や

費用を助成していただきました。今年度も『おたやかな革命』の自主上映会を予定しており基金に申請しています。世界に逆行して原発推進する日本で、市民主体で再生可能エネルギー事業が始まり地域再生の道具となっているドキュメンタリー映画で、秋ごろ実施の予定です。

また、今年度初めて電源開発に助成金が使われます。それが、関西の生活クラブ組合員の電源となる「住吉川小水力発電所」です。建設費用の一部として300万円が助成されます。ほかにも、組合員と生産者が一緒になって電源開発が盛んにおこなわれています。計画が進んでいる山形県遊佐町の大型太陽光発電所や、秋田県にかほ市の2基目の風車に続き、数々の候補地で調査を進めています。みなさんからの拠出金が今後もさらに省エネや電源開発に活かされていきます。

私たちの エネルギーを考える!



「生活クラブでんき」の契約者は任意で「自然エネルギー基金」(以下、基金)に加入できます。基金の金額は毎月の電気使用料金(課税前)の5%です。電気の使用量に応じた基金拠出としたのは、節電意識を高めることも目的にしているからです。

化石燃料に頼らない持続可能な社会へとつながります。まだまだ基金への参加が必要です。「自然エネルギー基金」へぜひ参加しましょう。

環境担当常務理事 泉容子

生活クラブでんきキャンペーン! 8月31日(金)まで 期間中にご契約の方は 電気代 1,000円キャッシュバック

お申し込みの方は、配達担当またはエスコープ大阪・本部までご連絡ください。
☎072-293-4660

すでに契約済みで基金に申し込まれる方は生活クラブエナジーまでご連絡ください。
フリーダイヤル 0120-112-075



エコロ制度 6月度報告

加入者数 1334名

給付状況	件数
組合員活動を支えるためのケア	0件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	4件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	0件
リフレッシュのためのケア	0件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	7件



エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
8月はお休み	SAYAKAホール (河内長野・大阪狭山地域)
8月はお休み	さつき野東集会所(南河内地域)
8月1日(水)10~12時	岬町望海坂第1集会所(泉州地域)
8月28日(火)10~12時	和泉市コミュニティーセンター (泉州地域)
8月はお休み	堺市立青少年の家(泉北NT地域)

*開催時間内であればいつ来ても、帰ってもOK
*組合員でないお友達との参加もOK *事前申し込みは不要
*お茶代100円(大人のみ)をいただきます

編集後記

6月18日(月)に起きた大阪北部地震で、被害に遭われた方々へのお悔やみとお見舞いを申し上げます。娘は通学中に電車の中で待機状態となりました。幸いしばらくして停止地点近くの駅で解放されましたが、見知らぬ土地。状況が見えない私は、娘が不安にならないように「近くのカフェで休んだら」とメッセージを送りましたが、震源に近い場所で営業している店などありません。駅前の病院で安全に待機できていることを確認して電車や交通の状況を見て対応しました。普段から非常時の状況に応じた備えと行動も考えておく必要があると痛感しました。(O)

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

186号2面「『生活クラブでんき』で自然エネルギー中心の社会をみんなでリードしよう!」を読んで
紙面モニター Aさん

世界では、風力・太陽光発電など自然エネルギーが低コストで急成長している中、まだまだ遅れている日本の現状を知りました。地域再生を目指す市民電力のがんばっている姿を頼もしく思いながら、きちんと日本のエネルギーの状況を知ることが大事と感じました。高橋真樹氏の講演会も聞きにいこうつもりです。

『りっぷる』の紙面について

紙面モニター Bさん

白黒で固い印象の紙面。文字が多く、読むには正直気合がいる情報紙だと思いました。個人的には184・185号2面のような横書きと字体、イラスト、余白が読みやすいし、内容が入ってくるように思います。文字も大きくしたほうが良いと思います。

★ご意見ありがとうございます。「りっぷる」は、全体チラシや地域委員会ニュースとは違い、理事会発行の機関紙としてメインはエスコープ大阪の政策や見解を発信する「読み物」と位置付けています。組合員が原稿を書き、編集しています。編集W.Co.の力を借りてレイアウトや文字の大きさは改善しておりますが、記事によってはやむを得ない場合もあり、十分でない紙面のときもあります。引き続き改善に努めます。

Ripple おたよりネット

(ペンネーム△OK)

●地域名

●組合員コード

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き
187号(2018.7.30)

●お名前

●班名

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

http://s-osaka.seikatsuclub.coop/